

令和6年度 運営推進会議 報告書

- ・開催日時 令和6年11月29日（金）14：00 ～
- ・開催場所 もくれん湖陵 相談室
- ・参加者 湖陵コミュニティセンター（石飛さま）・あんしん支援センター（三原さま）
出雲市役所（磯村さま）、福間、諸井

1) 小規模ホームもくれん、グループホームもくれんの現状について

- ◆ 小規模ホームもくれんの利用人員については別紙のとおり。

#3：ご夫婦でご利用、入院のため利用中止。奥様の利用は継続。

#15：独居で難病の方、居宅からの引継ぎにて利用開始。

町内や隣地域からの利用希望が相次いでいますが、職員体制からお断りしています。

- ◆ グループホームもくれんの利用人員については別紙のとおり。

満床が続いています。利用問い合わせの頻度も通常通りとなっています。

2) 状 況 報 告

- 一旦退職してから「復職したい」という職員が2名続きました。

引き続き職員さん個々に合わせた働き方を模索していきたいと思います。

➡ 働く人たちにおいて様々な諸問題があります。親の介護、育児、子どもの不登校、経済的事情など。地域でのバックアップ、例えばコミュニティの構築や声掛け運動など、小さなことかもしれないが、そういったものが今後重要になってくるのではないのでしょうか。

- 特定技能実習生の職員さんが江津市でのイベントにて日本語スピーチコンテスト、アオザイファッションショーに参加しました。

➡ 特定技能の方向けのイベントなどに参加してもらえると良いかもしれません。

- 近隣事業所のサービスの休止や中止の話を聞きました。危機感を持っています。

➡ Q：サービス事業所が増え過ぎたからですか？

A：私感ですが、種別問わず入所施設の飽和化が在宅サービスの弱まりを生んでいると感じています。それと「人材不足」が故に在宅サービスを諦める法人さん、訪問介護を休止すれば在宅は難しくなり、いずれは通所介護を休止する羽目になるでしょう。そうなる事で地域の「入所志向」は更に高まります。また「経済的事情」から施設入所が難しい方もおられ、その場合は小規模多機能の利用は魅力的かと思われます。

- 小規模のご利用者の方で、認知症の方がおられて、認知機能面の低下がみられることを知った上で「お出かけに誘い、一緒に食事を食べて、料金や車代、御礼を本人に出させる」という地域住民がおられて、対応に苦慮しています。

➡ 本人はその事を楽しみにしている実際があるかもしれませんが、一概に「止めなさい」と言えない辛さがあります。大きな問題に発展すれば、また相談しましょう。

3) その他

- 12月11日(水) 10:30 ~ 湖陵町民生児童委員の皆さんの見学受け入れ予定です。
➡ 久しぶりの訪問なので「小規模多機能型居宅介護について」知ってもらえる機会にしたいです。

(ア) 次回開催予定は

2025年01月31日(金) 14:00~もくれん湖陵

Instagram : @mokuren.izumo
Facebook : もくれん(高齢者介護事業)
ホームページ: izumo-mokuren.com



株式会社 **もくれん**